



秦野の古墳 ● 伊勢原の古墳

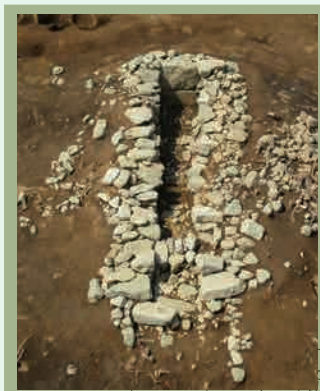


平成 28 ～ 30 年度にかけて、秦野・伊勢原市内において多くの古墳の調査を行いました。新発見の古墳が多く、現地見学会も実施しています。ここでは、特に注目される古墳時代後期・終末期の古墳について紹介していきます。



菩提横手遺跡（秦野市）

菩提横手遺跡は、秦野市に所在します。葛葉川右岸の丘陵上に4基の円墳が確認されました。円墳の規模は直径9～17mと様々で、後世の削平をうけてはいましたが、埋葬施設の構造が良好な状態で発見されました。埋葬施設は「横穴式石室」で、4号墳は羨道と玄室の幅が異なる両袖式石室であることがわかりました。石室の中からは、須恵器・土師器・直刀・鉄鏃・切子玉・ガラス製玉類・管玉・人骨などが出土しています。



1～3号墳からは直刀が見つかったんだよ！



玄室

羨道

4号墳は両袖式石室なんだよ！上の二つの石室と違うのわかるかな？

一番奥の石は、おっかいね！



子易・中川原遺跡（伊勢原市）

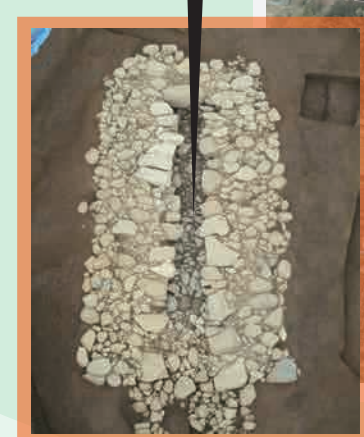
子易・中川原遺跡は、伊勢原市に所在します。市内を流れる鈴川の右岸の段丘面に立地しています。現在のところ、形態の異なる2基の古墳（1号墳は方墳、2号墳は円墳）と3基の横穴墓が比較的近い場所で確認されています。確認された古墳のうち、1号墳は外側に方形石積や石室を二重に巡る墳丘内石列を持つ全国的に珍しい墳丘構造であることが判明しました。石室の中からは、鉄鏃・耳環・人骨などが、周溝からは須恵器が見つっています。



石の列が二重になってるわ！！



玄室の幅は一人分が横になれる大きさしかないんだよ！



外側は方形になってるよ！

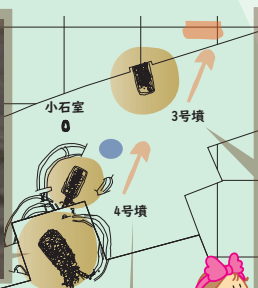
墳丘内石列って全国的に珍しいんだって！



上粕屋・子易遺跡（伊勢原市）

上粕屋・子易遺跡は、伊勢原市に所在します。鈴川の左岸の段丘上、子易・中川原遺跡の反対側に位置し、現在6基の円墳と1基の小石室が確認されています。墳丘は削平されていましたが、埋葬施設の構造が良好な状態で発見されました。「横穴式石室」で、羨道より玄室が一段さがるものと平坦なものと2通りの構造が確認されています。

石室の中からは、土師器（畿内系土師器）・ガラス製玉類・勾玉・鉄鏃・耳環・人骨などがみつかりました。

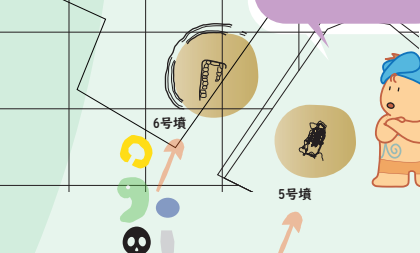


3号墳からは、近畿地方で使われた土器をまわった土器ができたよ。

6号墳からは、30代の男女と年齢不詳の男女、6歳の子供も、年齢不詳の子供も6人埋葬されていたことが、人骨や歯の分析によってわかったんだよ！



一段さがってる！



※各古墳の詳細な情報については、
現場見学会資料をみてね！！
→財団 HP 「終了した見学会」をクリック！

横穴墓と古墳って何が違うのかしら？

墳丘をもつお墓が「古墳」、岩盤とか固い地盤にほってあるお墓が「横穴墓」なんだ。



凡例： 勾玉 耳環 ガラス玉 鉄鏃 人骨 須恵器 土師器 切子玉 管玉 直刀